



北斗句会 五月定例会（八日 偕行社） 兼題「花」「餅」

五十音順 特は特選 石田きよし選

八重桜前のめりなる古い木かな 大崎石州

春愁や我に縁なき十連休 太田黒幸風

特 桜葉降る八十路の港出でにけり 大森康政

子はすでに孫もつ齡柏餅 竹内雲泉

柏餅食ふたび母のそこにあり 田中資凡

クレヨンの能はぬ色や春の宵 長池豆陽

葉桜や参道の店静もれり 深見十万

武者人形四暗刻の単騎待ち 藤田紀潮

地平線まで菜の花の黄一面 宮下ひかる

特 芝桜彼方に富士の嶺白し 森田光彦

特 のどけしや古刹の廊下きしむ音 山縣秀雄

亡きひとをふと思ひ出す君子蘭 吉岡誠山



この堀をめぐる戦や花筏 石田きよし